

ベルマーク新聞 6月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

寄贈マーク、増えています

 コロナ禍、SDGs意識の高まりなどが背景?

ベルマーク運動に参加できるのは、原則として学校などです。個人や企業単位では登録できません。でも、個人や企業が集めたベルマークでも、財団にお送りくだされば、すべて支援に活かされます。その意味で、ベルマークは誰でもできるボランティアなのです。

こうした財団に届くベルマークのことを「寄贈マーク」と呼びます。多くが個人からの寄贈ですが、その件数が最近、大幅に増えています。過去5年で見ると、年間2000～3000件台だったのが、2021年は4528件と急増しました。2022年になってからも、この傾向は続き、5月までに2638件の寄贈マークが届きました。前年同期を700件も上回

っています。

理由として考えられるのはコロナ禍。外出規制など行動が制約される中、ベルマークは「自宅に居ながらできるボランティア活動」として見直されたようです。2020年夏ごろから財団HPの寄贈マーク記事の閲覧が急増、そして翌年から実際の到着件数が増えていきました。

寄贈マークは、昨年度は東日本大震災被災校支援などで有効に使わせていただきました。また、昨年5月からは、管理のための「専用口座」も作って対応しています。

◇
もう一つ、寄贈マークが増えた理由として、SDGs (Sustainable Development

Goals、持続可能な開発目標) 達成への意識の高まりが考えられます。貧困や飢餓の解消、気候変動対策などをうたう、国連が定めた17の目標のことです。近年、急速に認知度が高まり、多くの企業が積極的に取り組んでいます。

その目標のひとつが「質の高い教育をみんなに」。ベルマーク運動が当初から取り組んできたことがまさにこれで、いわばSDGsを先取りしてきたと言えるかも知れません。SDGsの普及はベルマーク運動にとっても追い風の効果をもたらしています。

◇
ベルマークは、参加団体が備品を買々と、購入額の1割が自動的に寄付され、

支援に役立てられます。自分の学校のための活動が、同時にハンディのある学校への支援になる。これが運動開始当初からの変わらぬしくみです。

お子さんが学校を卒業すると、ベルマークとの関わりはなくなる？ いえ、そんなことはありません。日常の買い物で集まるベルマークは、いつでも支援のために生かすことができるのです。

寄贈マーク、
お待ちしております!!



9万6千点を財団に寄贈

 セイコーエプソン、2012年から取り組みを継続

セイコーエプソン株式会社から、ベルマーク9万6千点分の点数証明書はがきが財団に寄贈されました。協賛会社のエプソン販売(ベルマーク番号73)の親会社である同社は、2012年から使用済みの自社製インク・トナーカートリッジを回収し、ベルマーク点数証明書はがきに交換したうえで財団に寄贈する取り組みを続けています。

収集期間は2021年4月から2022年3月の1年間。長野県諏訪市にある本社に加えて、全国各地の事業所やセンター、子会社の協力が得ました。各拠点からの集約

を担当している総務部・社会支援担当の佐藤幸子さんは、「特に都市部の事業所で在宅勤務を進めており、来客も制限していることから、例年通りの回収が難しかった」と振り返ります。そのような状況下であっても、インクカートリッジは2万個近く、トナーカートリッジは31個も集まりました。

回収は今年度も行っています。佐藤さんは、今後の目標を「コロナ以前の20万点レベルに戻していきたい」と話してくれました。また、「引き続き、多くの方の協力を得て、リサイクルを推し進めたい」とも語りました。



財団に届いた点数証明書はがき

バーチャル説明会 2022



財団のホームページに設けた「バーチャル説明会」では、運動の現状や実務の説明、活動事例の紹介とともに、商品にベルマークを付けている協賛会社からのアピールを掲載しています。商品のお知らせ、楽しい動画、食育や環境への取り組みなど、計13社から多彩な情報が寄せられました。まとめてご紹介します。

(丸数字はベルマーク番号。「バーチャル説明会」は財団HPのトップページからお入り下さい)

ショウワノート

ショウワノート⑤は、第49回ベルマークキャンペーンを実施中です。2022年1月1日～12月31日に財団で検収を終えた同社のマークの点数を競うもので、上位入賞すると表彰状、記念品、同社の学習帳などがもらえます。エントリーは必要なく、検収結果をもとに、自動的に点数が算出されます。表彰対象は3000点以上集めた小学校。小学校以外で集票点数が全国1位の参加団体にも、賞状と記念品が贈呈されます。



クレハ

キッチンに欠かせないラップ。クレハ⑩のNEWクレラップは使いやすさ向上を目指し、これまで170か所以上の改良を施してきました。カットしやすい「V字の刃」や、「きちんとキレ窓」「飛び出しガード」など……。同社の新しいCM動画「負けてられない！」篇で、おなじみのおかっぱ姉妹とともに、その機能を実感してください。ベルマークは開封する際の切り取り部分にあり、ミシン目付きです。



スミフルジャパン

スミフルジャパン⑩は、「点数2倍キャンペーン」を実施中です。専用台紙に同社のベルマークを貼って財団に送ると点数が2倍になるキャンペーンです。6月1日(水)から10月31日(月)までに財団に到着したスミフルジャパンのマークが対象。同社HPで公開している専用台紙に貼ってあるマークだけが有効で、貼っていないものは通常の点数になります。台紙は1学校・団体あたり5枚を上限とします。



キューピー

キューピー⑦は、食の大切さ・楽しさを伝える食育活動に力を入れており、様々なメニューが用意されています。中でも「オープンキッチン(工場見学)」は、「工場は家庭の台所の延長」という考え方のもと、商品への理解を深め安心をお届けするために1961年から始まり、年間約7万人の見学者を受け入れてきました。コロナ禍の現在は、工場を映像で案内するオンライン見学を行っています。申し込みは同社HPから。



クツワ

1910年創業の文具の老舗メーカー、クツワ⑤の「マ磁ケシ」は、鉄粉入りで消しクズを磁石で集められ、さらにキャップをはめると磁力がオフになってクズが落ち、そのまま捨てられます。文房具屋さん大賞2022でも最も優れた文具に贈られる機能賞に輝きました。他にもクツワには心をワクワクさせるブランドがいっぱいあり、ユニークな商品がそろっています。同社から届いた様々な製品動画をお楽しみ下さい。



三井製糖

「スプーン印のお砂糖」でおなじみの三井製糖⑥は、商品パッケージのデザインを利用した、スプーン印のオリジナル回収箱1400個を、希望するベルマーク登録校・団体にプレゼントします。1団体あたり原則10個まで。先着順で、在庫がなくなり次第、プレゼントは終了します。希望する学校・団体は、ベルマーク財団まで電話かファクス、または財団HPの問い合わせフォームを使ってお申し込みください。



キリンビバレッジ

キリンビバレッジ④の代表的なベルマーク付き商品「生茶」がリニューアルされました。「摘みたて生茶葉のようなあまみ・香り」をコンセプトに、製法全体を刷新。芯まで凍らせて鮮度を保った生茶葉を使い、すがすがしくて爽やかな香りと、お茶らしい余韻の広がるおいしさを実現したそうです。パッケージのデザインも一新しました。満島ひかりさんと吉沢亮さんによる、美しいCM映像もご覧になれます。



牛乳石鹸共進社

牛乳石鹸共進社⑨は、多くの方に牛乳石鹸の魅力を伝えたいという想いからバーチャル工場見学の動画を制作しました。動画は、視聴者が360度の画面操作をすることが可能で、工場内を上から見渡したり、職人目線で石けん釜の中をのぞいたりすることもできます。ラインで運ばれて包装される流れを、自分が石けんになった気分で追いかけることもできます。熟練職人による石けんづくりをすみずみまでご覧ください。



ラッキーベル

1960年のベルマーク運動開始時からの協賛会社・ラッキーベル③は、学校用の上履きや体育館シューズなどを製造販売し、子どもたちを足もとから支えてきました。最近人気なのが「子どもの姿勢が良くなるサンダル」。鼻緒のある草履のようなスタイルで、足指の発達や土踏まずの形成に効果があるといわれ、立ち姿の姿勢がよくなる効果が期待できるそうです。詳細や購入は同社のHPからどうぞ。



NGP日本自動車リサイクル事業協同組合

「人と車と地球にやさしく 自動車リサイクル事業を通して、子どもたちと地球の未来を考えます。」とのSDGs宣言を出しているNGP日本自動車リサイクル事業協同組合⑥は、持続可能な社会の実現に向け、徹底的な分別で車のリサイクル率99%を達成しています。また、廃車の取扱説明書から「環境教育ノート」を作ったり、コロナ禍でも安心なバーチャル工場見学を実施したりと、多様な活動を展開中です。



日本テトラパック

日本テトラパック⑩製の紙パックを回収センターに送ると、重量に応じてベルマーク点数が付与されます。その仕組みを紹介する動画に加え、世界各国で、主に子どもたちが紙パックの回収・リサイクルに取り組んでいる事例を動画で紹介しています。世界の仲間とともに、持続可能な社会の実現に向けてリサイクルをすすみましょう。内側が銀色のアルミ付きパックなら、2倍のベルマーク点数がもらえます。



ジブラルタ生命保険

ジブラルタ生命保険⑤は昨年、創立20周年を迎え、様々なボランティア活動に取り組みました。そのひとつがベルマークの収集。昨年12月にはダンボール7箱分、330万点ものベルマークを財団に寄贈してくれました。21年目となる2022年もさらに積極的に活動をするそうです。同社の社会貢献活動スペシャルサイトへの入り口や、ダウンロードできるパンフレットのデータなどもあわせて掲載しています。



湖池屋

日本で初めてポテトチップスの量産化に成功した湖池屋⑦は、みんなが楽しくSDGsについて学べるアニメーション、湖池屋SDGs劇場「サスとテナ」を、BS朝日で毎週日曜に放送しています。社会課題や環境問題を反映した怪獣たちを前に奮闘する双子が主人公。楽しみながらSDGsへの理解が深まる内容です。アニメのキャラクターたちが、軽快に歌って踊るテーマソングの動画をぜひお楽しみください。



触覚や聴覚も使って防災を学ぶ

愛知・岡崎盲学校で防災科学教室

昨年12月21日(火)に愛知県立岡崎盲学校の高等部で実施された「防災科学教室」のレポートが、教室をベルマーク財団と共催する防災科学技術研究所(防災科研)から届きました。以下にご紹介します。



教室は、Dr. ナダレンジャーの科学実験と、災害過程研究部門の松川杏寧特別研究員による「安心防災帳を使って、災害にそなえよう」の2本立て。視覚障害の生徒にも伝わりやすいよう、聴覚や触覚で分かっているように工夫を凝らしました。

高等部の生徒は14人。そのうち全盲の生徒が9人、弱視の生徒が5人で、知的障害を伴う生徒も複数いました。少人数向けに丁寧な授業をするために、7人ずつ2グループに分かれてもらいました。

Dr. ナダレンジャーは、防災科研の理学博士・納口恭明さんが、子どもたちの興味を引くため金髪カツラや怪しいメガネで「変身」した姿です。定番の実験メニューを盲学校向けにアレンジ。たとえば、揺れの周期を実感してもらう器具「ゆらゆら」を使った実験では、長さの違う3本の帯の先端に鈴をつけ、揺らし方による違いを、

鈴の音で判別してもらえるようにしていました。

松川杏寧さんの授業は、まず「自分でつくる 安心防災帳」という教材にみんなで記入していきます。自分の身体の支障箇所など、色々な項目をチェック。でも「地域の防災訓練に参加したことがある」の項目にチェックを入れた生徒はゼロでした。「自分の身体のことを近所の人に知ってもらうのは大切。ぜひ地域の防災訓練にも参加してくださいね」と松川さん。さらに阪神・淡路大震災時に収録した音を示すなどして実際の災害への理解を促しました。

以下は、後日学校から届いた感想の抜粋です。

<生徒>雪崩や突風、地震の体験が楽しかった/普段身近に起きていることが巨大化するととても恐ろしくなる、と分かった/日ごろから近所の人に自分のことを知ってもらうことが大事/災害に備えて家具の固定や非常用持ち出し袋の用意をしたい

<先生>盲学校の生徒にもイメージしやすい説明で生徒の心に響いたと思う/震災時のリアルな様子を聞いて生徒の表情が真剣になっていった/実験を通して災害のメカニズムを肌で感じた



④鈴をつけた「ゆらゆら」を持つ Dr. ナダレンジャー
⑤安心防災帳を使って説明する松川杏寧さん

宮西達也さんの「おっぱい」全面改訂

山崎聡一郎さんはTVで「いじめ」を語る

ベルマーク財団と朝日新聞の共同企画「オーサー・ビジット」で長年講師を務めている絵本作家の宮西達也さんが、絵本「おっぱい」(1990年刊)の新装改訂版を4月に出版しました。絵も文章も新しくなっています。鈴木出版刊、定価1320円(税込)。

宮西さんの初期の代表作のひとつ。「オーサー・ビジット」の授業の読み聞かせにも使われています。「おっぱい」と聞くと、子どもたちは一様に笑ったり、恥ずかしそうにしたりしますが、宮西さんは「おっぱいは、いやらしいくないの。本当に素敵なんですよ」と言いながら、テンポ良く読み進めています。

新装改訂版は、基本的に内容を踏襲しつつ、すべて新しい絵になり、文章も、読み聞かせに使う中で自然に口をついて出てくる言葉を補ったとのこと。そのまま読めば、だれでも読み聞かせに使えます。

また、2020年度のオーサー・ビジット講師でベストセラー「こども六法」(弘文堂)の著者、山崎聡一郎さんが、テレビ朝日系のミニ番組「25歳～情熱の起点～」に出演しました。

山崎さんは小学生のときにいじめに遭っていたそうです。後に、いじめは傷害罪や暴行罪などの犯罪になると知りました。これを知っていれば、自分のような子どもたちが救われるのではと、子供向けの六法全書を作ろうと考えました。構想から5年経った2019年に出版が実現。そのとき山崎さんは25歳でした。「小学生の頃のいじめ経験は、ずっと今でもあり続ける問題。だからこそ、歩き続けた年でした」と話します。

番組は東京地区で4月6日深夜に放送されました。番組のHPから視聴することができます。



宮西達也作・絵「おっぱい」



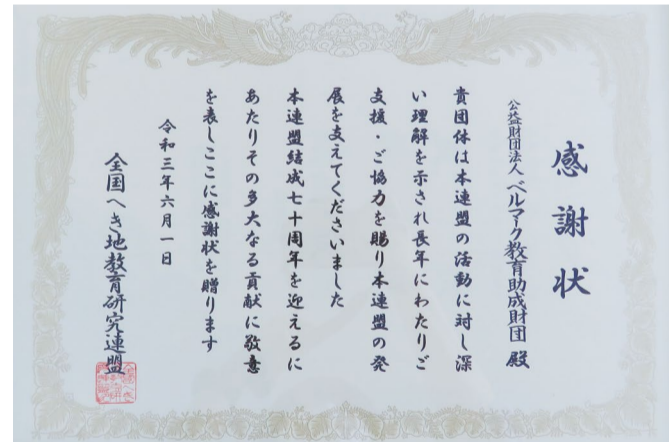
山崎聡一郎さん

全へき連から感謝状

財団含め5団体が受領

山間部や離島など都会から離れた地域の教育の在り方を研究し、当地の子どもたちの教育振興をはかる「全国へき地教育研究連盟(全へき連、柿崎秀顕会長)」からベルマーク財団に感謝状が贈られました。

5月26日に都内で贈呈式があり、全へき連の活動に長く貢献してきたとして、みずほ教育福祉財団、日本教育公務員弘済会、ジブラルタ生命保険、教育新聞社、それにベルマーク財団の5団体に感謝状が手渡されました。



支援に感謝メッセージ 宮城・石巻市立万石浦小

ベルマーク財団が2021年度に実施した東日本大震災被災校援助の支援先のひとつ、宮城県石巻市の市立万石浦小学校(児童257人、安部崇校長)から感謝メッセージが届きました。

万石浦小にはデジタルカメラが5台贈られました。届いた写真は、児童会行事「しおかぜ祭り」の一場面。異なる学年がペアを組み、上の学年が射的やゲームなどの「お店」を出し、下の学年が遊ぶというものです。子どもたちを先生がカメラで撮影しています。森居昭教頭によると、機器の更新時期だったこともあり、とても助かったとのことでした。

学校の図書室には「テイラー文庫」というコーナーがあります。震災当時、同



校に勤務していた石巻市の外国語指導助手(ALT)でアメリカ人のテイラー・アンダーソンさんは、児童を避難させた後の帰宅途中に津波に巻き込まれ、24歳で亡くなりました。文庫は遺族から寄付されたもので、テイラーさんが子ども時代に読んでいた絵本などもあるそうです。文庫はその後、市内の多くの学校に広がっています。

リモートで理事会開催 評議員会は書面決議に

ベルマーク財団の理事会が5月11日に開かれ、2021年度の決算などが承認されました。依然続くコロナ禍に配慮して、理事の大半がオンライン会議システムを使ったリモート出席でした。

また、6月2日に予定していた評議員会は、同様にコロナ禍に配慮し「書面決議」で行われました。2021年度決算及び2022年度事業計画と収支予算などが承認されました。



大台達成校

5月		
和名ヶ谷小	千葉県松戸市	6,022,190
刀根山小	大阪府豊中市	5,032,002
なでしこ小	東京都北区	4,046,965
大綱小	横浜市港北区	4,049,584
井土ヶ谷小	横浜市南区	4,001,019
志佐小	長崎県松浦市	4,036,390
善行小	神奈川県藤沢市	3,027,845
大道小	神奈川県藤沢市	3,095,018
鴨方東小	岡山県浅口市	3,046,644
富ヶ丘小	宮城県富谷市	2,008,113
坂井東小	新潟市西区	2,011,009
西郷小	岐阜市	2,012,351
共長小	愛知県大府市	2,011,394
園田北小	兵庫県尼崎市	2,006,046
池田小	埼玉県新座市	1,002,365
辻南小	さいたま市南区	1,032,586
フイッシャー幼稚園		
	東京都三鷹市	1,000,129
庄南小	富山県砺波市	1,013,538
日野小	岐阜市	1,001,514
熊本大学教育学部附属幼稚園		
	熊本市中央区	1,001,507

